

「日本に笑顔を醸しだそう」

日本酒を召し上がる時、皆さんは何を思い浮かべますか？
多くの方は故郷を思い浮かべるそうです。

にぎやかな春の祭り、涼しげな夏の水辺、
黄金色に染まる秋の田園、そして静寂に包まれる冬の里山。

日本酒は古来より、こうした日本の風景とともに歩んできました。
自然の恵みである米と水、そして美しい日本人の心が育んだ文化が
世界に誇れる S A K E = 日本酒を生みました。

日本は今、東日本大震災により未曾有の危機に瀕しています。
数えきれないほどの家や建物が地震と津波により破壊され、
多くの方が被災しました。
さらに田は海水に沈み、里山は崩れ、無残な姿をさらしています。

そして多くの酒蔵も被災しました。

もとの美しい故郷の風景を取り戻すため、
日本人の笑顔を取り戻すため、

地域に根ざし、地域に支えられ、日本の酒を醸し続けてきた
蔵元から日本へのメッセージ。

私たちは皆様とともにこの国の復興を目指し、日本の笑顔を醸してまいります。

Brewing Smiles for Japan!

What comes to mind when you savor a cup of sake?
For many Japanese, sipping sake conjures up images of their hometowns...

Lively spring festivals, refreshingly cool streams in summer, the golden fields of autumn, and the tranquility of the surrounding hills in winter.

Since time immemorial, sake has been a close companion to such quintessential Japanese sights and experiences. One of the world's greatest libations, sake was born from the fusion of nature's bounty—rice and water—with the culture cultivated by the sublime spirit of Japan.

This country is now grappling with the immense crisis wrought by the March 2011 earthquake and tsunami, which took untold lives and destroyed countless homes and buildings. Japan's natural scenery was also ravaged, with the tsunami inundating rice paddies and washing away hillsides.

And, many sake breweries were among those affected by the disaster.

Rooted in and supported by local communities, we, the sake and shochu brewers of Japan, are eager to help restore the scenic beauty of the devastated hometowns of Japan and put smiles back on the faces of people in this country. This is our message for Japan:

We will work hard with everyone to help get this country back on its feet, and in so doing brew smiles across the land!

東日本大震災で被害を受けた蔵元に対する義援金を受け付けています

平成23年6月1日

平素から当業界に何かとご支援をいただき誠にありがとうございます。

日本酒造組合中央会では、今回の震災による被害が甚大かつ広範囲に及んでいることから、皆様方からの義援金を受け付けています。

皆様の暖かい御支援をお願い申し上げます。

■義援金窓口

銀行名：三井住友銀行日比谷支店 普通預金 No.8 6 4 6 6 9 1

口座名：日本酒造組合中央会 義援金口 会長 辰馬 章夫

(ニホンシュヅウクミアイチウオウカイ ギエンキンクチ カイチョウ タツウマ アキオ)

- * この義援金については、「国等に対する寄附金」ではなく一般の寄附金となり、税制上の特典の対象となりませんので、個人が支出する義援金については寄付金控除の対象とならず、法人が支出する義援金については損金算入限度額の範囲内で損金算入の対象となることにご留意願います。
- * 取扱期間 平成23年6月1日（水）～平成23年8月31日（水）
(第2次締切りとし、必要に応じて延長します。)
- * 義援金を拠出いただきました方（社、店等）については、別紙様式により日本酒造組合中央会 総務部までファクシミリ(03-3501-6018)又はホームページのご意見コーナー(<http://www.japansake.or.jp/common/agreement.html>)にてご一報いただけると幸いです。
なお、受領証が必要な方は、振込控のコピー等を添付のうえ送付先並びにその旨の記載をお願いいたします。(受領証の発行には、事務手続き上、数ヶ月を要する場合があります。)
また、いただきました個人情報につきましては、「義援金」の配分先の酒造組合へ「義援金受領名簿(仮称)」として配布することといたしていますのであらかじめご了承ください。

■よくあるご質問

- Q1. 今回の義援金はどのように使われるのですか？
- A. お預かりした「義援金」につきましては、全額を被災された蔵元が所属する各県酒造組合を通じて、被災された組合員（蔵元）へ届けます。広範囲に被害が及んだことから、配分方法は被害状況を勘案し、「※日本酒造組合中央会東日本大震災被害対策本部」においてそれぞれの額を決定いたします。
※日本酒造組合中央会東日本大震災被害対策本部は、日本酒造組合中央会役員を主体として構成されています。
- Q2. 日本酒造組合中央会ホームページへのリンクは希望できますか。
- A. リンクを希望される場合は、リンク先URLと連絡先を日本酒造組合中央会広報部宛にホームページのご意見コーナー(<http://www.japansake.or.jp/common/agreement.html>)にてご連絡ください。なお、了承する場合は当方からご連絡いたします。

No. _____

日本酒造組合中央会

東日本大震災
義援金拠出者芳名録

1. 義援金額	円
2. 御芳名	
3. 御住所	
4. 職業 (会社名等)	

なお、いただきました個人情報の利用に際しましては、権利を損なわないよう十分配慮いたします。ご記入やお申し出いただいた個人情報は、被災した組合・蔵元へのお名前の連絡等の必要な範囲に限定して利用するもので、他の目的には利用しません。